



下関市の推進構想

「学びが好きな子どもの育成」をめざして

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の取組を一体的に推進することにより、子どもの豊かな学びやふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、地域住民同士のつながりを大切にする地域づくりの実現をめざす。

1 地域連携教育の成果と課題

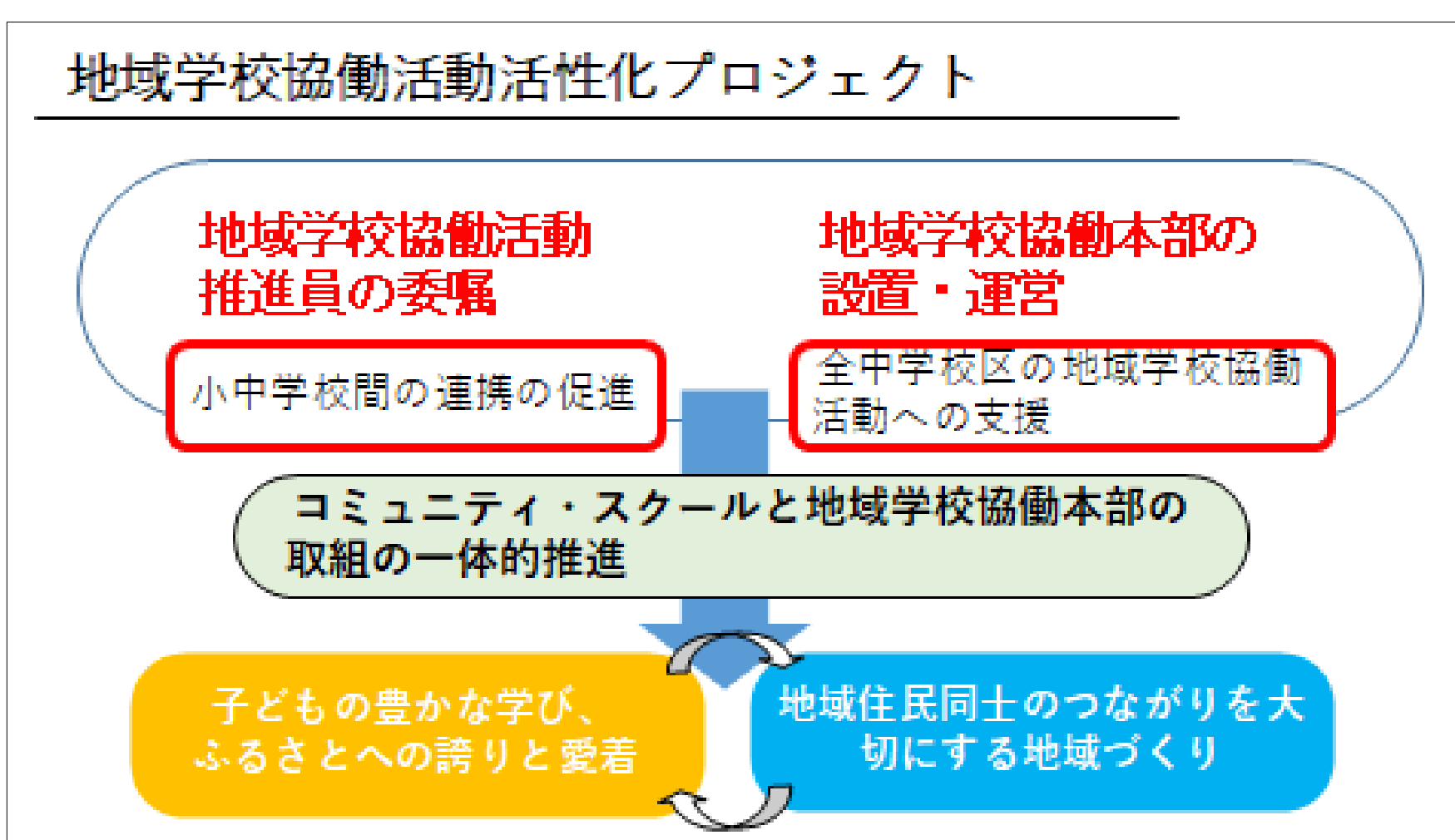
- <成果> 地域学校協働活動推進員及び地域学校協働本部を核とした地域連携教育の仕組みの定着
- <課題> ふるさとへの誇りと愛着を育む取組における児童生徒の思いの把握

2 重点取組事項

- 推進員や教職員等の研修会の場を活用して、評価する目的（何のために、何をめざして）を明らかにして、各中学校区の取組の意味・価値を捉え直すことで、活動に対する意識を高めていく。
- 地域連携教育に関わる子どもの思いの把握・分析を行う。
- 障害者支援関係部局及び特別支援学校との連携強化を行う。

3 重点取組事項の進捗を図る指標

- 評価指標（CAN-DOリスト）をもとに振り返りを行うことで、取組の改善に生かす。
- 児童生徒へのアンケートをもとに、地域連携教育による児童生徒の思いの検証を行う。
- 障害者支援関係部局、特別支援学校等との協議を行い、誰もが安心して参加できる新たな地域連携教育の可能性、支援体制を模索していく。



活動取組

市立桜山小学校



桜山向上委員会

「スマホとの付き合い方」など、事前調査の結果を桜山向上委員会が報告し、改善案を練り合った。

下関商業高等学校



チャレンジショップ

模擬株式会社設立から資金調達・販売実習等を学習・体験し、下関に貢献できる人材を育成している。

市立安岡中学校



読書交流会

図書ボランティアと学校司書が連携して読書交流会を企画し、当日の運営を生徒主体で行った。

市立養治小学校



海洋教育

海の生き物調べを通して関門海峡に興味をもち、地域施設の支援の下、学びを進めている。